

闘いの向こうに見える景色！

＜市内大会選手激励会(R4.6.8.)校長講話＞

校長制作の日常の部活動の様子を撮影した動画・写真のスライド Imovie を視聴

昨年度も何度か話をした内容です。

努力の量や大きさは誰にも測ることはできない。もしたとえ努力の量が測れたとしても、努力した方が良い結果や勝てるということは約束も保証もされていないのが、特にスポーツや競争の世界です。

市内大会に向けてこれから努力できる時間は限られているので、これからどんなに頑張ったところで、実はもう、表面上に表れる結果は見えているんです。わかっているんですね。それはどうにもならないことです。

また、自分たちの努力とは一切関わりなく、競技ごとに条件が違う、つまり比較する基準が異なるわけですから、いい成績を収めた〇〇部の方が立派だとか、負けたからあの部はダメなんてだれにも言えないです。ことです。

そして、部全体の目標もあるでしょうし、個人としての目標もあるでしょうし、それが同じでない場合だって当然あるのです。

それでは、参加する全選手にとっての共通のとらえとして何を考えながら大会に臨めばいいのか。それは、闘いを終えた後に、いい方向に自分を導いてくれる自分なりの答が見つかるかどうかだと思います。数学では導くべき答のことを、よく「解」と言いますが、いわば、自分自身の「納得解」「納得感」を、どれだけ高いレベルで得ることができるかどうかだと考えます。

具体的に言うならば、「あんまり熱心に練習してなかったから勝てなかったのも仕方ないや。もうこれでいいや。」と思う人もいれば、「もっと練習しておけばよかった。やっぱり悔しいのでこの競技を高校でも続けて、もう一度頑張ってみよう。」「やるだけの努力はすべてやった。もう何も悔いはない。次は勉強や学校行事を頑張ろう。」と思う人もいるでしょう。それぞれの「納得」の仕方が、その人間を成長させ次につながる「納得解」「納得感」になるかどうか重要だと思うのです。

もっと簡単に別の言い方をすれば、市内大会を通じて、あなたは何をできるか、何をできることができたかということです。

ぜひ、これから夏まで続く大会を、あなたの未来、次へとつながる何かを見出せる貴重な機会にしてほしいと願っています。

学校や友達のために頑張るのではないのです。あなたはあなたの自身のために闘うのですよ。ナイスゲームがナイスライフにつながるように！